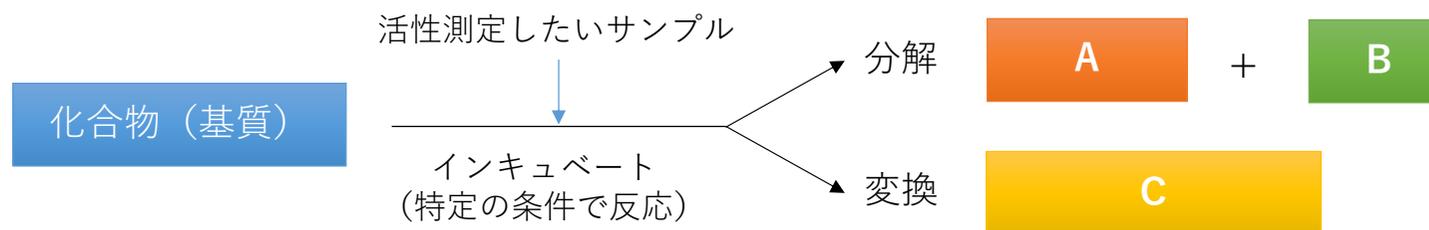


■ 活性を知りたい

酵素などの活性分析を行います。以下のような反応によって減少する物質や生成する物質の単位時間当たりの量を測定し、活性値（ユニット／容量あるいは重量）表記します。



基質の減少量あるいは反応によって生じる物質（A、BまたはC）の生成量から活性値を決める

酵素などの阻害活性分析は、化合物（基質）に酵素と阻害活性を測定したいサンプルを加え、活性を50%阻害する量を求めます。一般的に50%阻害を1ユニットと規定し、希釈倍率やサンプル濃度などから、単位重量あるいは容量あたりのユニットに換算します。

ホームページに掲載されている酵素以外の活性分析、阻害活性分析についても実施しております。詳細についてはお問合せください。